

## 令和元年度 佐渡市事業レビュー 論点

### ◆女子ファンクラブ事業（交流居住・定住促進対策事業）

- ・モニターツアー等の実施により、一定の効果はあったと説明できるか。
- ・費用対効果として、定住の促進にどのように繋がったのか。

### ◆ホームページ更新委託料（情報システム活用事業）

- ・情報のアップデートまでに1週間程度を要する現在の体制において、市民への適切かつ迅速な情報提供は可能と判断できるのか。
- ・職員が直接アップデートする形式に変更した場合、費用、職員の負担、管理体制はどのように変化するか。業務の効率化・コスト削減等の効果が見込めるのか。

### ◆卸業者向け米袋作成費（販売網構築事業）

- ・米袋を市が作成することで、どのような効果があったか。
- ・事業開始から一定の期間が経過したが、ブランド名の定着という目的は達成されているのか。事業内容を踏まえ、どのような分析をしているのか。

### ◆佐渡産材利用促進事業補助金（林業振興事業）

- ・予算の執行率が低いが市民のニーズに合っているか。
- ・利用の促進以前に、まずは佐渡産材のコストダウンを図るべきではないか。

### ◆スポーツイベント負担金（スポーツ推進事業）

- ・今後、職員数も縮小が予想される中で、トライアスロン大会を円滑に開催するためにも、会場設営作業の業者委託を進めるべきではないか。
- ・長らく業務に携わり、業務を把握している市職員への依存が認められる。実施主体である佐渡市スポーツ協会がリーダーシップを取っているか。
- ・それぞれのスポーツイベントの経済波及効果の検証により、費用対効果の検証は行われているか。費用対効果が低いイベントはないか。

### ◆宿泊施設改修費補助事業

- ・本来であれば民間施設の改修費であり、民間企業が採算の範囲内で行うべきものである。公費を投入すべき性質のものなのか。
- ・新たな取り組み等に対する補助であればともかく、いわば維持管理経費であり、補助事業を続けることで営業努力を妨げることにもつながりかねないのではないか。